

社会課題の解決を志す若者を、 原石から発掘して徹底的に磨きあげる

少子高齢化・経済格差・子どもの貧困・過疎化など、数多くの問題に直面する「課題先進国」日本。10年後、20年後のこの国の在り方や、グローバルでの役割を見据えた時に、特にいまの政府や民間だけでは取り組みにくい問題と真摯に向き合う次世代の担い手を発掘し、育てていくことが、いま求められています。

7か月間の実践型プログラムと、 OBOGになっても続く社会起業塾コミュニティ

単なる「学び」の場にとどまらず、参加メンバーが事業を推進しながら、先輩起業家とともに重要な経営課題に取り組んでいく実践の場。ブレないミッションと、課題の本質に向き合う粘り強さを備えた社会起業家を育成します。



社会課題の解決に徹底的に向き合う研修



先輩経営者との集中検討で事業戦略を磨き上げる



パートナー企業社員との接点や協働の機会



卒業後も続く社会起業家とパートナー企業のコミュニティ

企業・行政が協働し、社会起業家を育成

2002年、社会起業家という言葉がまだほとんど認知されていなかった時代。ETICとNECの協働で、本プログラムはスタートしました。2010年には花王、横浜市をオフィシャル・パートナーに、電通をプログラム・パートナーに迎え、現在は年間8〜9組を支援しています。

社会起業家が、企業や行政と連携・協働することで、社会課題の解決を加速させることを目指します。また、中長期的には、パートナー企業・行政の人材育成や事業創出につながることも期待しています。

オフィシャル・パートナー



NEC社会起業塾
(2002〜)



花王社会起業塾
(2010〜)



横浜社会起業塾
(2010〜2013)
※2014年は後援として横浜市での活動をサポートします。

◆プログラム・パートナー： **dentsu** (株)電通 (2010〜)

社会に大きなインパクトを生み出す社会起業家たち - 卒塾生紹介

社会起業塾は、これまでに73組の社会起業家を選抜し、その創業期をサポートしてきました。卒塾生たちは、さまざまな社会課題にアプローチし、大きなインパクトを生み出し始めています。

社会起業家の育成・支援にあたって重視するポイント

- 【1】誰も取り組んでいない潜在的な社会課題や、既存の取り組みでは十分な解決策がない課題に対してアプローチ
- 【2】現場のニーズを踏まえた革新的なサービスや仕組みを提案
- 【3】社会課題の根本的な解決に向けて、企業や行政とも連携し、事業モデルを他地域・他国へ横展開

【NEC社会起業塾】



【病児保育の事業化】
認定NPO法人フローレンス
駒崎弘樹
2003年度参加

仕事と育児の両立が当たり前の社会を目指し、病児保育・病後児保育問題を解決するため日本初の「訪問型病児保育」を開始。これまで3000世帯以上にサービスを提供。



【児童売買春の防止】
認定NPO法人
かものはしプロジェクト
村田早耶香
2003年度参加

カンボジアの児童売買春・人身売買問題の解決を目指し、子どもたちを守るために農村で職業訓練と雇用の機会を提供。現在はインドへも、その活動を拡げている。



【聴覚障がい者の支援】
シユアールグループ
大木洵人
2010年度参加

今までITの恩恵を受けにくかった聴覚障がい者の生活をIT事業で大きく変えるため、日本初の手話専門ポッドキャストの定期配信を実現。

【花王社会起業塾】



【児童養護施設等の学習支援】
NPO法人3keys
森山 菅恵
2011年度参加

児童養護施設など、十分な学習環境が得られない子どもたちへの学習支援活動や、そのような子どもたちの現状を社会に発信する啓発活動を展開。



【教育パウチャーの普及】
公益社団法人
チャンス・フォー・チルドレン
今井 悠介
2013年度参加

貧困の連鎖を断ち切るため、学習塾・習い事・体験活動等に利用できる学校外教育パウチャー（クーポン）の提供や、大学生ボランティアによる個別メンタリングを提供。



【子育てシェアサービス】
株式会社AsMama
甲田 恵子
2010年度参加

顔見知り同士で子どもの送迎や託児を頼りあう子育てのインフラSNS「子育てシェア」の運営や、実際に顔を合わせて交流を育むイベントを各地で実施。